

令和 8 年度 第 1 回川崎市社会教育委員会教育文化会館専門部会 摘録

開催日時：令和 8 年 6 月 2 3 日（火）

1 3 時 3 0 分～1 5 時 3 0 分

開催場所：教育文化会館第 5 会議室

出席者：＜委員＞山澤委員(部会長)、村社委員(副部会長)、安田委員、結城委員、野口委員、竹内委員、池上委員

出席者：＜事務局＞重田館長、藤田分館長、平井分館長、根本課長補佐、大久保係長、大野主任(記録)

傍聴者：1 名

1 開会

2 事務連絡

傍聴 1 名。過半数の出席があるため、本日の教育文化会館専門部会は成立。川崎市社会教育委員会議規則第 6 条 6 項による。

3 委嘱状交付

4 館長あいさつ

5 職員紹介

6 委員自己紹介

7 部会長、副部会長選出

8 報告

(1) 川崎市立労働会館改修工事等の概要について

根本課長補佐よりスケジュール概要と跡地利用を説明。資料[5 工期再延長について][7 関連事業の影響について]。労働会館のフロア構成の説明。資料[川崎市民館・労働会館のフロア構成等について]。

(2) 川崎市民館・労働会館の愛称の募集について

根本課長補佐より募集から決定までの説明。報道資料。

9 議事

(1) 教育文化会館、大師分館、田島分館の社会教育振興事業について

教育文化会館 大久保係長より説明 資料〔令和8年度 教育文化会館実施事業〕
結城委員) グローバルアカデミーの子どもの対象年齢がわかると良いと思うがどうか。

大久保係長) 資料最後のページで①、②、⑥は小学生から中学生。これ以外は大人も子どもも参加可能。

村社委員) 「教文青年教室」のタイトルに青年が入っていると青年だけが対象と受け取られないか。実際は年配の方も来ているので「教文市民教室」等に変えられたらどうか。

大久保係長) 名称については定期的に参加者たちと相談しているが、「青年教室」という名称に受講者が慣れ親しんでいるのですぐの変更は難しい。募集等の際には名称の後に「どなたでも参加可能」など表記する。見せる工夫で対応したい。

竹内委員) 保育ボランティアの運営の実態を伺いたい。

大久保係長) 教育文化会館では長年「ポピンズ」というボランティア団体が担っていたが、メンバーの高齢化等により一旦活動休止となった。現在は田島分館、大師分館で参加できる個人登録とし、ボランティア人数が集まった段階でグループ化の予定。現在の登録者数は8名。グループ登録は10名から。

安田委員) 定員が10～20名は少ないので増やすことはできないか。

大久保係長) 公民館事業はお互いの顔の見える関係をメインに置いている。20名くらいが適正と生涯学習推進課から指示を受けている。だが応募人数が多かった場合には配慮はしている。

山澤委員) 「家庭・地域教育学級」で子育ての悩みをパパにも参加できるように土曜、日曜日等に1回設けたらどうか。

大久保係長) この講座はすべて木曜日だが何人かのパパの応募がある。今後、土曜日等パパが参加できるイベントを担当と考えている。

大師分館 藤田分館長より説明 資料〔令和8年度 教育文化会館実施事業〕

村社委員) シニアの健康講座がとても良い。宮川病院にもチラシを置いてもらったらどうか。

藤田分館長) 担当とそうに進めたい。

竹内委員) バルーンアートの講座はどこが発案したのか。

藤田分館長) 3年ほど前に開催していた。期間が空いたのでまた行いたいという流れ。バルーンアート同好会がお祭りごとなどに参加している。今回は同好会とは別。

安田委員) 町内会で広報を担当している。チラシ等は掲示板、回覧板で回せるので協力したい。

藤田分館長) ありがとうございます。お願いしたい。

田島分館 平井分館長より説明 資料〔令和８年度 教育文化会館実施事業〕

野口委員) 田島分館の講座やコンサートはとても興味深い。

池上委員) 未就学児の参加が少ないのはもったいない。なぜ集まらないのか。昨年の参加人数はどれくらいか。

平井分館長) 理由がわからないが広報においては手を尽くしている。タイミング悪く天候も悪かったりすると、お子さんが小さいので出かけるのを止めてしまうのも考えられる。昨年の参加人数は一桁だった。区役所にもチラシを置いている。

結城委員) 教文でも行ったらどうか。以前「子育てサロン」に参加した。子どもが１歳を過ぎると働きに出る母親も多い。

(２) 協議テーマについて

重田館長より説明 資料〔令和８年度教育文化会館の協議テーマについて〕

山澤委員) 頭と身体を両方使う講座は高齢者に良い。

結城委員) 講座の時間帯に参加しやすいようにしたらどうか。平日以外で設定してほしい。

村社委員) 教文の社交ダンス講座に若い頃参加していた。昔は産業文化会館という名称で産文。当時の社交ダンス講座の参加者は若者が多かった。定員１２０名くらい。今は高齢者が多いので若い方が参加できる講座が良い。

竹内委員) 「にほんごひろば」ボランティアを行っている。来年度から外国人の就労制度が変わる。それに伴い国が日本語学習に力を入れるというが、それを誰が教えるのか。識字学級は生活に困らないようなレベルの学習であり、日本語をしっかりと勉強とは少し違う。教文で行うイベントの範疇かわからないが行政のしっかりした支援体制が必要。そのあたりを市で考えてほしい。

池上委員) ３歳の時に日本に来た。外国籍だが日本語しか話せない。今後外国人が増えていくので話したいと思う。外国語を日本人に教える講座があればいい。

安田委員) 市の情報があふれているのを痛感した。あまりハードな講座ではなく気軽に参加できるものが良い。大師分館の「ほっとカフェ」が満員だ

った。これからも増えるのでは。そのような活動を続けてほしい。スマホ講座や AI 講座などの開催。終活もあれば参加したい。

野口委員) 土曜日の午前中とかに、誰でも参加できるような料理を作って食べる講座があると良い。

山澤委員) 子どもたちは学校でタブレットを使っている。先生と話したがタブレットを使える子とできない子に差が生じている。大人にも当てはまり格差が生じる。その格差を救えるのが社会教育ではないか。授業でも AI を使っていく時代なので、子どもたちや若い人向けの講座もあると良い。各世代に適した講座や外国人との共生の講座ができると良い。

結城委員) 月ごとにいろいろな国の料理講座。人を集められる行事ができると良い。

村社委員) 高齢夫婦で参加できる講座があると面白いのではないかな。

安田委員) 田島分館の講座の運営費用はどうなのか。

平井分館長) 市からの予算。参加ボランティアは無償。講師は講師料を支払う。

竹内委員) 月に一度くらい外国人を対象に日本料理を作ったり、逆に外国人の料理を作って食べる講座はニーズがあるのではないかな。

山澤委員) 一人暮らしの方が参加できる講座があると良い。

(3) 今後のスケジュールについて

第2回：令和8年 9月10日(木) 13:30～

第3回：令和8年12月16日(水) 13:30～

専門部会は今日を含め全4回を予定している。

例年第4回は2月の中旬土・日に開催しているので、後日日程を決める。

10 その他

なし

11 閉会